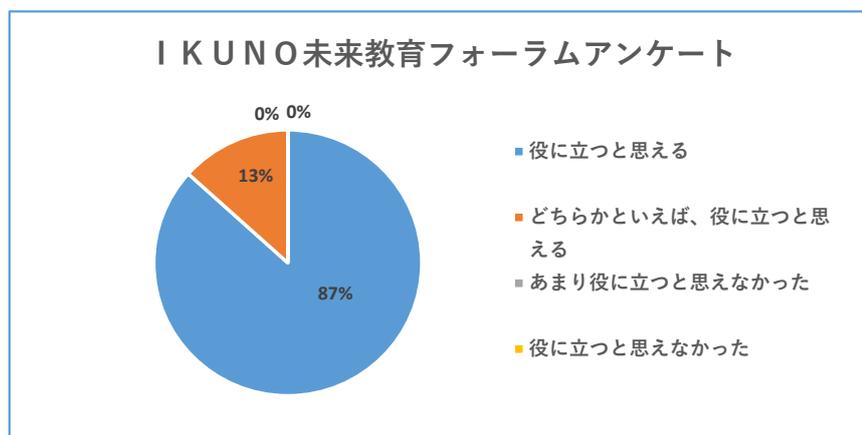


IKUNO未来教育フォーラム アンケート結果

★今回のフォーラムの内容は、次世代の教育プログラムを考えるうえで役に立つと思えるものでしたか？



自由記述「特にどのような点が役に立つ（または不満感があり）と感じましたか？」

自由記述	
1	先生方にも、これからの生野区の方向性を伝えていきたい。
2	産官学地域の繋がりが見え、その道の「プロフェッショナル」の支援を受けることで教育の幅が広がると感じた。 6年生最後の国語として「プロフェッショナルたち」という教材があり、そこで子どもたちは「プロフェッショナル」とは「もともとすごい人」なのではなく「好き」という気持ちで「失敗してもあきらめないでチャレンジする人」「極めたいという気持ちで追及する人」という本質に迫っていきます。 生野区にはそんな「プロフェッショナルたち」が身近にいるんだと改めて感じ、文字だけでなく、生野区にいる「プロフェッショナルたち」から実際に話を聞くことでその思いに触れることで子どもたちの心を揺さぶることができるのではないかと思います。
3	いろいろな分野からの提言が聞けてよかったです！
4	生野区内の学校が同じ土俵に立ち、これからの教育について考える良い機会になったと思います。
5	子どもが社会や将来とつなげて学ぶことができる教育の重要性について共有できたこと。
6	今回の産官学それぞれの立場でのご意見等を直接お聞きしたことで、今後の方向性を考えるうえで、役立つと思いました。
7	産官学の連携、特に産業界の方々の意見交流は新鮮であった。
8	日頃一緒に仕事をする事のない民間の方や研究者の方の考えを聞くことができ、職場の現状と比較しながら考えることができた。
9	今後、どのような方向をめざしていけばよいか考える良い機会となった。
10	企業との連携の進め方の理解が、より深まった。
11	「産」の方々の見識は次世代の教育に不可欠であることを再確認しました。
12	地域の企業やプログラムを協働する企業と学校とが一緒になって、子どもたちの学びを産官学が一緒になって支えていくという姿勢が当たり前であることを示すことができた点。
13	学校と企業をつなぐ橋渡しとして大いに期待します。
14	産官学連携の可能性の広がりを感じました。
15	産官学の連携の具体的な例が示されていた。